

読書感想文を書こう！

わく そと だいいい なまろ
枠の外に、題名と名前を
か
書くよ。(字数に数えませんが)



その1 ひつよう じゅんび 必要なものを準備しよう。

- ほん 本 どんな本でもいいよ。(マンガや攻略本はだめ。) おすすめ本の「課題図書」もあるよ。ぜひ！
- げんこうようし 原稿用紙 1年生・2年生は720字～800字、3～6年生は1080字～1200字
- えんぴつ えんぴつ 読みやすく、ていねいに書こう。きれいに消せる消しゴムもあるね。
- メモの紙 ノートくらいの大きさの紙にメモするよ。自主学習のノートでも、いらぬ紙でもいいよ。本にはさみたい人は紙がいいし、なくしたら困ると思う人はノートにしよう。「ふせん」がある人は、それも使えるから用意してね。

その2 ほん えら 本を選んだら・・・

メモの紙に、選んだわけを書いておこう。題名や絵を見て、どんなお話だと思ったかな。

その3 よ 読む！

読みながら、心が動いたところをメモしよう。
1回目は何も書かずに読んで、読み終わってから書いたり、2回目を読んでメモしたりしてもいいよ。
気になったページにふせんを貼っておいたり、そこにちょっと書いたりしておいてもいいね。

心が動くとは・・・「なんでかな。」
「へえ。」 「いいなあ。」 「おもしろいなあ。」
「はらはらするよ。」 「うれしくなるな。」
「自分とちがうなあ。」 「似ているなあ。」
「わたし/ぼくならこうするなあ。」・・・など

その4 じぶん みなお なに か かんが 自分のメモを見直して、何を書かかを考えよう。

いきなり作文にとりかかれる人もいないけれど、まずはメモを見直してみよう。
書いておいたなかで、もっと書くことがたくさん思いついて、くわしくできるのはどれだろう？
3つくらい選んで、それを組み立てていこう。たとえば・・・本を選んだ理由をくわしく書いて(1つめ)、いちばんどきどきしたことを書いて(2つめ)、自分も似たようなことがあったときにこうしたよということを書いて(3つめ)、最後には【この本を読んでよかったなあと思うことや、この本に出会って自分はこれからどうなるかの想像】を書いたらまとまるね。
作者が言いたかったことを考えたり、登場人物への手紙にしたりする工夫もできるね。
最後には、自分のまとめを書けるように、先にメモしておいたら書きやすいよ。

その5 げんこうようし か 原稿用紙に書いていこう。

「これについては何行目から何行目に書こう。」と、先に書く量を決めると書きやすくなるよ。

その6 さいご さくぶん よ なお 最後に、作文を読み直そう。

どんな作文も、自分が最後に読み直して完成。友達に本のおすすめをするつもりで書けたかな。

☆ たて書きです。原稿用紙の大きさや、字詰は規定されていません。(インターネットに専用の用紙もあります)

☆ 句読点(、や。)はそれぞれ1字に数えます。改行の(行を変える)ための空白は字数として数えます。